

産地生産基盤パワーアップ事業

令和7年度補正予算額 8,000百万円

<対策のポイント>

収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、**農業者等が行う高性能な機械・施設の導入や栽培体系の転換等**に対して総合的に支援します。また、輸出事業者等と農業者が協働で行う取組の促進等により**海外や加工・業務用等の新市場を安定的に獲得していくための拠点整備、需要の変化に対応する園芸作物等の先導的な取組、全国産地の生産基盤の強化・継承、土づくりの展開等**を支援します。

<事業目標>

- 青果物、花き、茶の輸出額の拡大（農林水産物・食品の輸出額：5兆円〔2030年まで〕）
- 品質向上や高付加価値化等による販売額の増加（10%以上〔事業実施年度の翌々年度まで〕）
- 産地における生産資源（ハウス・園地等）の維持・継承 等

<事業の内容>

1. 新市場獲得対策

- ① **新市場対応に向けた拠点事業者の育成及び連携産地の対策強化**
新市場のロット・品質に対応できる**拠点事業者の育成に向けた貯蔵・加工・物流拠点施設等の整備、拠点事業者と連携する産地が行う生産・出荷体制の整備等**を支援します。
- ② **園芸作物等の先導的取組支援**
園芸作物等について、**需要の変化に対応した優良品目・品種、省力樹形の導入や栽培方法の転換、技術導入の実証等の競争力を強化し産地を先導する取組**を支援します。

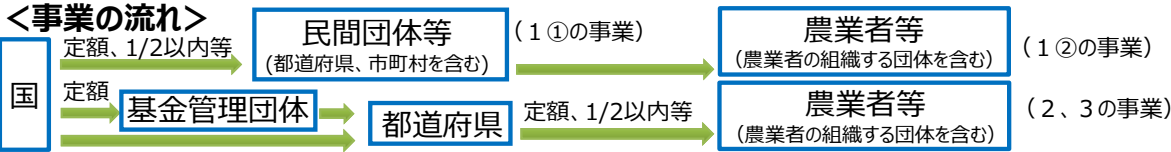
2. 収益性向上対策

- 収益力強化に計画的に取り組む産地に対し、**計画の実現に必要な農業機械の導入、集出荷施設の整備等**を総合的に支援します。また、**施設園芸産地において、燃油依存の経営から脱却し省エネ化を図るために必要なヒートポンプ等の導入等**を支援します。

3. 生産基盤強化対策

- ① **生産基盤の強化・継承**
農業用ハウスや果樹園・茶園等の**生産基盤を次世代に円滑に引き継ぐための再整備・改修、継承ニーズのマッチング等**を支援します。
- ② **全国的な土づくりの展開**
全国的な土づくりの展開を図るため、**堆肥や緑肥等を実証的に活用する取組**を支援します。

<事業の流れ>



※共同利用施設の再編・合理化については、以下の事業で支援
○新基本計画実装・農業構造転換支援事業
老朽化が進む地域農業を支える共同利用施設の再編集約・合理化に取り組む産地に対して支援。

<事業イメージ>

農業の国際競争力の強化

輸出等の新市場の獲得

産地の収益性の向上

新たな生産・供給体制

拠点事業者の貯蔵・加工施設

供給調整・流通効率化に向けた施設・機械

果樹・茶の改植や省力樹形導入

収益力強化への計画的な取組

農業機械のリース導入・取得

ヒートポンプ等のリース導入・取得

生産資材の導入

特別枠の設定

推進枠の設定

施設整備

中山間地域の体制整備

継承ハウス、園地の再整備・改修

堆肥等を活用した土づくり

【お問い合わせ先】
(1 ①、2 の事業) 農産局総務課生産推進室 (03-3502-5945)
(1 ②の事業) 果樹・茶グループ (03-3502-5957)
(3 ①の事業) 園芸作物課 (03-6744-2113)
(3 ②の事業) 農業環境対策課 (03-3593-6495)

産地生産基盤パワーアップ事業のうち
園芸作物等の先導的取組支援

令和7年度補正予算額 8,000百万円の内数

<対策のポイント>
園芸作物等について、需要の変化に対応した優良品目・品種、省力樹形の導入や栽培方法の転換、技術導入の実証等の競争力を強化し産地を先導する取組を支援します。

<政策目標>
○果実の生産量の拡大（256万t〔令和12年まで〕）
○茶の生産量の維持（7.5万t〔令和12年まで〕）、茶の輸出額の増加（810億円〔令和12年まで〕）

<事業の内容>

<事業イメージ>

1. 果樹対策
- ① 改植・新植、未収益期間の幼木管理支援
省力樹形や優良品目・品種の導入（改植・新植と一体的に行う雨よけ設備等の設置を含む）、未収益期間の幼木管理経費を支援します。また、自園地を省力樹形に一齐改植し、成園までの間は代替園地で営農を継続する取組を支援します。
- ② 小規模園地整備、設備、高温対策資機材の導入支援
園内道の整備、用水・かん水設備、防霜ファンや多目的防災網等の設置を支援します。また、遮光ネット等の高温障害の発生低減に向けた資機材の導入を支援します。

<果樹>

省力樹形の導入

高温対策資機材の導入



りんごのトールスピンドル

細霧冷房装置の設置

遮光ネットの設置

かん水＋土壌被覆資材の設置

2. 茶対策
- ① 改植・新植、未収益期間の幼木管理支援等
優良品種への改植・新植、有機栽培・てん茶への転換、未収益期間の幼木管理、防霜ファンの導入、農業機械等のリース導入等を支援します。
- ② 茶関連産業等と連携した新形態の大規模茶産地モデル形成支援
茶生産の担い手・茶工場・実需者が一体となり、生産性向上、労働力確保、茶工場の省エネ化等の課題に対応する産地モデルを形成する取組を支援します。
- ③ 化石燃料のみに依存しない新たな茶加工技術の検討・実証支援
茶工場における燃料使用量の削減に向けた新たな茶加工技術の検討・実証の取組を支援します。

<茶>



優良品種への改植

てん茶栽培への転換

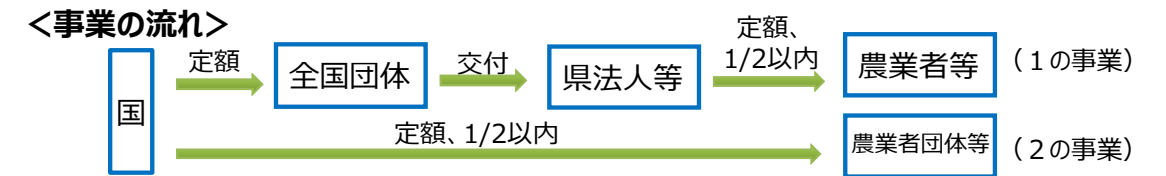
協議会

生産性向上

労働力確保

省エネ化

新形態の大規模茶産地モデル形成



〔お問い合わせ先〕 農産局果樹・茶グループ (03-3502-5957)